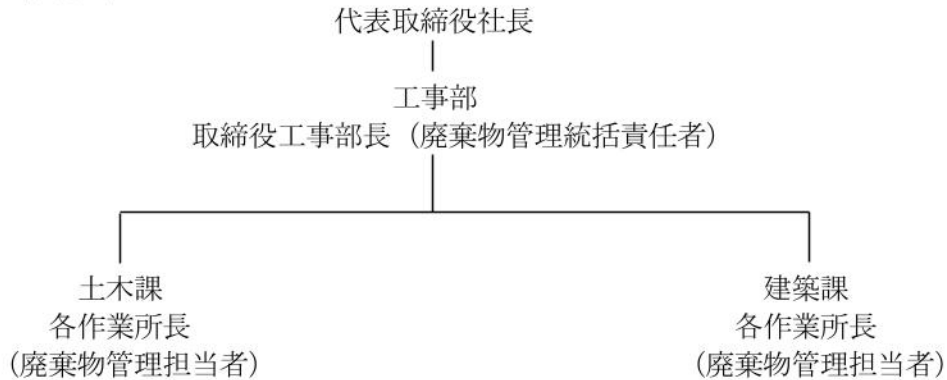


産業廃棄物処理計画書	
令和 6 年 6 月 28 日	
長崎市長 鈴木 史朗 殿	
提出者 住 所 長崎市浜口町14 - 10	
氏 名 武藤建設株式会社 代表取締役 武藤 剛 電話番号 095-845-3175	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	武藤建設株式会社
事業場の所在地	長崎市浜口14 - 10
計画期間	令和 5 年 4 月 1 日 ~ 令和 6 年 3 月 31 日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	建設業
② 事業の規模	10億円
③ 従業員数	26名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	排出事業者 —— (委託業者) 収集運搬業者 —— 中間処理 —— 木質チップ 燃料化 再生紙 金属原料 再生砕石 固化材 安定・管理型埋立

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		別紙参照
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		別紙参照
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 各現場で発生する建設系混合廃棄物は、木くず、廃プラスチック、紙くず、 廃石膏ボード、金属くず、ガラス・陶磁器くず等であり各ボックスを 設置して分別処分を行っている。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 今後も、各現場では出来るだけ種類別に処理ボックスを設置して分別 処理をしていく。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（ 令和 5 年度）実績】 別紙参照		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

③ 計画	【目標】 別紙参照		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の搬出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	コンクリート殻
	排 出 量	1846.525t	371.00 t
	(これまでに実施した取組)		
	処理業者と適正な委託契約を締結した。 中間処理工場で再生材として、再利用した。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	コンクリート殻
	排 出 量	500.00t	100.00t
	(今後実施する予定の取組)		
	今後も処理業者と適正な委託契約を締結していきます。 中間処理工場で再生材として、再利用していきます。		
① 現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト塊	廃プラスチック類
	排 出 量	405.90 t	12.365t
	(これまでに実施した取組)		
	処理業者と適正な委託契約を締結した。 中間処理工場で再生材として、再利用した。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト塊	廃プラスチック類
	排 出 量	10.0t	20.00t
	(今後実施する予定の取組)		
	今後も処理業者と適正な委託契約を締結していきます。 中間処理工場で再生材として、再利用していきます。		

産業廃棄物の搬出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	紙くず
	排 出 量	1.808t	0.60t
	(これまでに実施した取組)		
	処理業者と適正な委託契約を締結した。 中間処理工場で再生材として、再利用した。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	紙くず
	排 出 量	1.00t	3.00t
	(今後実施する予定の取組)		
	今後も処理業者と適正な委託契約を締結していきます。 中間処理工場で再生材として、再利用していきます。		
① 現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	その他がれき類	汚泥
	排 出 量	31.396t	10.670t
	(これまでに実施した取組)		
	処理業者と適正な委託契約を締結した。 中間処理工場で再生材として、再利用した。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	その他がれき類	汚泥
	排 出 量	15.00t	1.10t
	(今後実施する予定の取組)		
	今後も処理業者と適正な委託契約を締結していきます。 中間処理工場で再生材として、再利用していきます。		

産業廃棄物の搬出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	廃石膏ボード
	排 出 量	0.30t	4.20t
	(これまでに実施した取組)		
	処理業者と適正な委託契約を締結した。 中間処理工場で再生材として、再利用した。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	廃石膏ボード
	排 出 量	1.00t	10.00t
	(今後実施する予定の取組)		
	今後も処理業者と適正な委託契約を締結していきます。 中間処理工場で再生材として、再利用していきます。		
① 現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	混合廃棄物	木毛セメント
	排 出 量	14.716t	0.14 t
	(これまでに実施した取組)		
	処理業者と適正な委託契約を締結した。 中間処理工場で再生材として、再利用した。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	混合廃棄物	木毛セメント
	排 出 量	10.00t	0.00 t
	(今後実施する予定の取組)		
	今後も処理業者と適正な委託契約を締結していきます。 中間処理工場で再生材として、再利用していきます。		

産業廃棄物の搬出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	土と藁	
	排 出 量	0.20t	
	(これまでに実施した取組)		
	処理業者と適正な委託契約を締結した。 中間処理工場で再生材として、再利用した。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	土と藁	
	排 出 量	0.00t	
	(今後実施する予定の取組)		
	今後も処理業者と適正な委託契約を締結していきます。 中間処理工場で再生材として、再利用していきます。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	コンクリート殻
	全処理委託量	1846.525 t	371.000 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	623.425t	2.000 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	1223.100 t	369.000 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	—	—
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	—	—
	(これまでに実施した取組) 各現場で発生する建設系混合廃棄物の処理は、許可業者にて行っている。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	コンクリート殻
	全処理委託量	500.00t	100.00t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	450.00t	10.00t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	50.00t	90.00t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	—	—
	認定熱回収業者以外の熱 回収を行う業者への処 理 委 託 量	—	—
	(今後実施する予定の取組) 今後も各現場で発生する建設系混合廃棄物の処理は、許可業者にて処理を行って いきます。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト塊	廃プラスチック類
	全処理委託量	405.90 t	12.365 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	—	3.675 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	405.90 t	8.690 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	—	—
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	—	—
	(これまでに実施した取組) 各現場で発生する建設系混合廃棄物の処理は、許可業者にて行っている。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト塊	廃プラスチック類
	全処理委託量	10.00t	20.00t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	2.00t	10.00t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	8.00t	10.00t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	—	—
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	—	—
	(今後実施する予定の取組) 今後も各現場で発生する建設系混合廃棄物の処理は、許可業者にて処理を行って いきます。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	紙くず
	全処理委託量	1.808 t	0.60 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0.904 t	0.06 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0.904 t	0.54 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	—	—
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	—	—
	(これまでに実施した取組) 各現場で発生する建設系混合廃棄物の処理は、許可業者にて行っている。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	紙くず
	全処理委託量	1.00t	3.00t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0.50t	1.00t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0.50t	2.00t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	—	—
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	—	—
	(今後実施する予定の取組) 今後も各現場で発生する建設系混合廃棄物の処理は、許可業者にて処理を行って いきます。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	その他がれき類	汚泥
	全処理委託量	31.396 t	10.670 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	1.480 t	—
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	29.916 t	10.670 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	—	—
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	—	—
	(これまでに実施した取組) 各現場で発生する建設系混合廃棄物の処理は、許可業者にて行っている。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	その他がれき類	汚泥
	全処理委託量	15.00 t	1.10t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	5.00t	0.50t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	10.00t	0.60t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	—	—
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	—	—
	(今後実施する予定の取組) 今後も各現場で発生する建設系混合廃棄物の処理は、許可業者にて処理を行って いきます。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	廃石膏ボード
	全処理委託量	0.30 t	4.20 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	—	—
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0.30 t	0.00 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	—	—
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	—	—
	（これまでに実施した取組） 各現場で発生する建設系混合廃棄物の処理は、許可業者にて行っている。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	廃石膏ボード
	全処理委託量	1.00t	10.00t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0.50t	5.00 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0.50t	5.00 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	—	—
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	—	—
	（今後実施する予定の取組） 今後も各現場で発生する建設系混合廃棄物の処理は、許可業者にて処理を行って いきます。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	混合廃棄物	木毛セメント
	全処理委託量	14.716t	0.14t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	11.180t	—
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	3.540t	0.14t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	—	—
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	—	—
	(これまでに実施した取組) 各現場で発生する建設系混合廃棄物の処理は、許可業者にて行っている。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	混合廃棄物	木毛セメント
	全処理委託量	10.00t	0.00t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	10.00t	—
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0.00t	0.00t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	—	—
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	—	—
	(今後実施する予定の取組) 今後も各現場で発生する建設系混合廃棄物の処理は、許可業者にて処理を行って いきます。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	土と藁	
	全処理委託量	0.20 t	
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	—	
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0.20 t	
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	—	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	—	
	（これまでに実施した取組） 各現場で発生する建設系混合廃棄物の処理は、許可業者にて行っている。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	土と藁	
	全処理委託量	0.00t	
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	—	
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0.00t	
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	—	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	—	
	（今後実施する予定の取組） 今後も各現場で発生する建設系混合廃棄物の処理は、許可業者にて処理を行って いきます。		